

**1回目：巖谷國士 氏** 要予約

5月25日(土) 14:00~15:30  
会場：美術館別館 アートテラス  
定員：50名  
参加無料

**2回目：岡村多佳夫 氏** 要予約

6月8日(土) 14:00~15:30  
会場：美術館別館 アートテラス  
定員：50名  
参加無料

**ワークショップ 他** 要予約

**シュルレアリスムの遊び**  
「甘美な死骸」を体験しよう！  
5月12日(日) 10:30~12:00  
講師：藤田百合 氏(エドゥケーター)  
会場：美術館別館 アートテラス  
定員：20名(小学生以上) 参加無料  
★甘美な死骸：シュルレアリスト達が用いた共同制作の技法

**母の日に贈ろう！** 要予約  
フロッタージュでトートバック作り  
5月12日(日) 14:00~16:00  
講師：藤田百合 氏(エドゥケーター)  
会場：美術館別館 アートテラス  
定員：親子10組20名程度 参加無料

※ 4月20日(土)からご予約スタート(お電話またはホームページよりご予約ください)

**毎週日曜・祝日10時30分から開催  
ギャラリートーク**

会期中の日・祝日にお出でのご希望の皆様へ、学芸員による作品解説を行います(所要時間は30分程度)。  
<4/28~5/6除く>

**会期中の毎月第1日曜日は「会話OK」  
トーク・フリーデー**

声の大きさを気にせず鑑賞いただけるので、小さなお子様連れでも気兼ねなく鑑賞をお楽しみいただけます。

同日14:00~「ミステリーギャラリーツアー」開催！対話形式で作品の面白さを解き明かします(約45分)。

**作品世界を気軽に分かりやすく学ぶ  
無料音声ガイド**

展示のみどころを分かりやすい音声解説でご案内。小・中学生向けの内容もご用意してします。  
<台数に限りがございます>



**展覧会の概要**

諸橋近代美術館では、1999年の開館以降、スペイン・カタルーニャ州出身の芸術家であるサルバドル・ダリ(1904年-1989年)による作品を中心に西洋近代以降の作品を収集、所蔵し、特色あるコレクションの形成と展覧会の開催を継続して参りました。

この度、美術館の20年間に渡る歩みを記念して、開館20周年記念展「シュルレアリスムとダリ～幻想と驚異の超現実～」を開催いたします。

20世紀初頭、第一次世界大戦を経て既成の社会通念に懐疑の念を持った若き表現者達がフランス・パリに集い、「驚異」や「幻想」を頼りとして展開した「シュルレアリスム」は、日本で「超現実主義」とも訳されています。

この運動に合流したダリは独自の表現を確立させながらも、シュルレアリスムの思想に反する者としてグループを離脱しました。それに関わらず、以後シュルレアリスムの体現者として、そして20世紀を代表する芸術家として世に広く認知されるまでに至ります。

本展覧会ではシュルレアリスムの発端を辿り、その在り方や芸術家たちの実験的な制作技法とともに、ダリがシュルレアリスムにおいて如何なる存在であったかを紹介します。



マン・レイ《シュルレアリスムのグループ》1930年/モダン・プリント 岡崎市美術館蔵 (5/20まで展示)

展覧会	開館20周年記念展 vol.1 シュルレアリスムとダリ～幻想と驚異の超現実～
主催	公益財団法人 諸橋近代美術館
後援	福島県、福島県教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM(順不同)
会期	2019年4月20日(土)～6月23日(日) ※5月21日(火)のみ展示替えのため休館
会場	諸橋近代美術館 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093番23
時間	午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
観覧料	一般950円、高校・大学生500円 中学生以下無料
備考	20名以上の団体料金は各50円引き ※教育施設対象の観覧料免除制度あり(要事前申し込み) ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳所有者と付添い者1名は無料

出品予定点数：約115点(展示替え含む)  
主な借用予定先：宇都宮美術館/岡崎市美術館/ポーラ美術館/広島県立美術館/埼玉県立近代美術館/一般財団法人草月会/福島県立美術館/ALIMO(順不同)

**ミュージアムショップ情報**

**アートディレクター角田純さんによるオリジナルのTシャツ販売!**  
毎年恒例のオリジナルTシャツを販売いたします。アートディレクターとして活躍する一方、7月13日から始まる当館展覧会の招聘アーティストの1人でもある角田純さんが手がけるデザインをお楽しみに!その他、ダリを所蔵する当館ならではの様々なグッズもご用意しています。  
※デザインは変更になる場合がございます。

**ミュージアムカフェ情報**

**地元のお菓子屋さんとのコラボ!**  
20周年記念オリジナルブレンドも登場。  
地元「ヒロのお菓子屋さん」とコラボした当館オリジナルアイシングクッキーが登場。手作りで描くアイシングの中にダリへのオマージュが込められています。定番のトラジャコーヒーに加え、オリジナルブレンドもラインナップします。  
※デザインは変更になる場合がございます。

**広報用画像のご提供**

ご希望の際は下記の事項をご記入の上、メールにて当館までご連絡下さい。折り返しご連絡致します。お手数おかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- (1)会社名 (2)担当者名 (3)連絡先電話番号・メールアドレス (4)掲載媒体名・番組名 (5)発行日・放送日 (6)発行部数

**読者・視聴者プレゼント用招待券のご提供**

本展覧会の招待券(5組10名様)をご提供します。ご希望の方はメールにて当館までご連絡下さい。

**取材や記事掲載にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。**

お問い合わせ：公益財団法人諸橋近代美術館 担当/久納(くのう)  
e-mail: s-kunou@dali.jp tel:0241-37-1088 fax:0241-32-3332  
〒969-2701 福島県北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093番23  
公式ホームページ <http://dali.jp>



## 第1章：虚構の現実世界とシュルレアリスムの前夜

シュルレアリスム(超現実主義)とは、幻想や夢、偶然性を鍵に無意識と非合理の世界を探求し、意外性と驚異に満ちる表現を生み出した20世紀最大の思想運動です。その誕生は1924年、詩人アンドレ・ブルトン(1896-1966)の『シュルレアリスム宣言』発表によるものと定義づけられていますが、その端を発したのは1914年に勃発した第一次世界大戦の惨禍に見舞われたヨーロッパの社会情勢でした。

のちに芸術家となる若者達は、前線に動員されて戦地の惨状を目の当たりにしたことで、それまで通底してきた社会の常識や彼らが信仰してきた合理主義と秩序、すなわち「現実」に対して不信と抵抗を持つようになります。もはや彼らの目には虚構にしか写らない「現実」の破壊、あるいはより強度の「現実」を見出すことを試みた芸術運動がヨーロッパ各地で展開され始め、シュルレアリスムの発端となったのです。



ジョルジョ・デ・キリコ《イタリア広場》1914年 油彩・カンヴァス 公益財団法人諸橋近代美術館蔵  
© SIAE, Roma & JASPAR, Tokyo, 2019 E3290

## 第2章：シュルレアリスム始動 超現実を求めて

1924年、ブルトンはフランス・パリで『シュルレアリスム宣言』を発表しました。これにより、シュルレアリスムは名実を伴った芸術思潮として本格的に始動したといえます。

ブルトンのもとには画家、彫刻家、詩人、写真家などあらゆる分野の創作者が集まってグループを成し、日々実験的な手法を開発して制作を続けました。オートマティスムやコラージュ、フロッタージュなど、ともすれば遊びの一環とも捉えることができる手法を用いた作品の数々は、制作の過程で生じた「偶然の組み合わせ」や「奇妙な意外性」に満ちています。これらの要素は、秩序や既成概念から脱するという点で、シュルレアリスムに欠かすことのできないものでした。



ポール・デルヴォー《森》1948年 油彩・板 埼玉県立近代美術館蔵  
© Foundation Paul Delvaux, Sint-Idesbald - SABAM Belgium / JASPAR 2019 E3290

## 第3章：革命児から反逆児へ ダリの加入と離脱

1929年、シュルレアリスム・グループに新たな仲間が加わりました。スペイン出身の芸術家サルバドール・ダリ(1904-1989)です。グループの発足以降、シュルレアリストたちはオートマティスムを筆頭に、偶然性に大きく頼る手法でもって創作活動を行っていました。受動性と切り離し難いこれらの手法に対して、ダリが解いたのは意識下の欲望を顕証する積極的なアプローチ、すなわち「偏執狂的=批判的方法」です。ブルトンはシュルレアリスムに新たな展開をもたらす存在であると期待して、ダリを歓迎しました。

一方のダリはグループに加入して芸術家としての足場を固めたものの、次第にグループの政治的思想から逸れていき、ブルトンとの関係に亀裂が生じ始めます。1934年、グループ内の「公開裁判」において、過激な言動でブルトンを激怒させたダリは実質的にグループを追放されました。

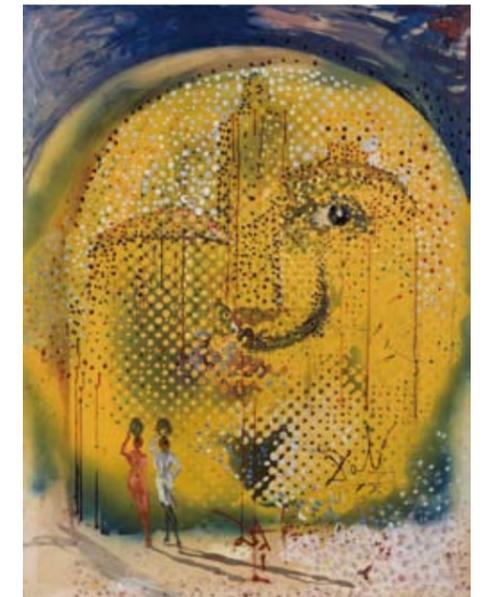


サルバドール・ダリ《果てしなき謎》1938年 鉛筆・紙 一般財団法人草月会蔵  
© Salvador Dali, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2019 E3290

## 第4章：ダリが引き継いだシュルレアリスム

1939年9月に第二次世界大戦が勃発し、翌40年にナチスがパリへの侵攻を開始すると、多くのシュルレアリストが亡命を余儀なくされました。アメリカへ亡命するシュルレアリストが相次ぐ中、一足先にアメリカへ出入りしていたダリはニューヨークにその名を轟かせていました。積極的にメディアへ露出し、アメリカの富裕層の肖像画の受注製作や大衆向けの作品を手がけるダリに対してブルトンは厳しい批判を続けましたが、もはやダリはアメリカにおいてシュルレアリスムの代表格として確固たる存在になっていたのです。

1966年、ブルトンの死とともに、運動としてのシュルレアリスムはひとまずの収束を迎えます。しかしシュルレアリスムの思想とそこから生じた制作手法は、ある意味ではダリを介してアメリカに伝播して影響を及ぼし、今日まで広く脈々と引き継がれているのです。



サルバドール・ダリ《ダリの太陽》1965年 油彩・メソナイト 岡崎市美術館蔵  
© Salvador Dali, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2019 E3290 (5/20まで展示)

### 20年の想いと新たな船出

諸橋近代美術館は2019年6月3日で開館20周年を迎えます。昨年末で当館の来館者数は延べ102万7,558名となりました。これまでご来館頂きました皆様、美術館運営に多大なるご支援頂きました皆様に心より深く感謝申し上げます。開館当初は美術館自体の認知度が低く、来館者の方からは「なぜ福島でダリなんですか?」「これらの作品は本物ですか?」といった質問を頂きました。その後は徐々にアジア唯一のダリ常設美術館として知られるようになり、お陰様で今日では海外からの来館者も増えています。

今後は、更に魅力溢れる美術館づくりに職員一同努めて参ります。新たな諸橋近代美術館に是非ご期待ください。

理事長 兼 館長 諸橋英二



1999年 福島の景勝地である裏磐梯・五色沼入口(磐梯朝日国立公園内)に開館

### 今後の展覧会

■ 2019年7月13日(土)~11月24日(日) | 会期中無休 | 開館20周年記念展 vol.2

四次元を探しに:ダリから現代へ(仮称)

■ 2020年 夏頃 開館20周年記念展 vol.3

ダリとハルスマン展~ダリ・ポートレートへ(仮称)

※展示内容および期間は諸事情により変更になる場合がございます

### 創業者 諸橋廷蔵の紹介

1934~2003年

福島県いわき市出身の実業家・ゼビオ株式会社(本社:福島県郡山市東証一部上場 スポーツ用品小売業 大型スポーツ店を中心に店舗を全国に展開)の創業者。いわきの小さな紳士服月賦販売店を、紳士服店チェーンとして、一代で全国に店舗展開し、日本を代表するスポーツ用品店に育てた。生地の買い付けなどで世界を飛び回る中、スペインのフィゲラスにあるダリ美術館でサルバドール・ダリの作品に出会い、従来の常識を打ち破るダリの作品に強い憧れと魅力を感じ、版画・画集等の収集をはじめた。

